令和７年度版（令和６年度実績）

飯綱町環境レポート

（概要版）

～健全で豊かな環境の恵みを守り継承する飯綱町～

飯　綱　町

1. 望ましい環境の将来像

飯綱町が目指す将来像は、長い歴史と文化が育まれた飯綱町の豊かな資産を引継ぎ、誰もが住んでよかったと実感できるふるさとづくりです。

また、上位計画である第２次飯綱町環境基本計画では、望ましい環境の将来像として「健全で豊かな環境の恵みを守り継承する飯綱町」を掲げています。

そこで、本計画においても、同様の望ましい環境の将来像を掲げ、環境教育を通じて、町民（個人・家庭）、事業者（地域・団体）、保育園・学校・社会教育施設等、町役場（行政）などの各主体が、本町特有の豊かな自然環境が私たちの生活の基礎になっていることを認識するとともに、望ましい環境の将来像の実現に向けて、日常生活や事業活動において自然環境への配慮に自ら取り組み、行動する地域社会の形成を目指します。

望ましい環境の将来像

『健全で豊かな環境の恵みを守り継承する飯綱町』

２ 指標

計画の実効性を確保するために、指標を設定します。なお、指標の設定に当たっては、本計画の上位計画である環境基本計画で設定されている指標と同様のものを使用します。

本計画で設定する指標は、次のとおりです。

区分	項目	現状 （令和６年度）	期間目標 （令和９年度）	達成状況
評価指標	町一斉清掃参加人数	約 750 人	1,250 人	B
	林業体験参加者数	284 人	200 人	A
	町自然体験プログラム※1 数	13 プログラム	20 プログラム	B
	民間含む信州型自然保育認定園※2 数	4 園	4 園	A
	森林整備・木材活用・自然体験等提供を行う団体	1 団体	1 団体	A
	町の事務･事業における CO２排出量	2,965t	3,319t	A
	役場環境推進専門の担当者	0 人	1 人	C
	１人１日当たり可燃ごみ排出量	363g	340 g （令和 11 年度）※4	B
	こどもエコクラブ※3 登録団体数	0 クラブ	5 クラブ	C
	耕作放棄地率	6.9%	8.0%	A
	不法投棄の量	1.5t	1.0t	B
	水質調査全箇所（河川平均値）でのＢＯＤ※5 値	0.5～2.0 mg/L	2.0 mg/L 以下	A

※「A」80%以上の達成、「B」50%以上～80%の達成、「C」50%未満の達成

評価指標（住民評価）	里山・森を守る満足度		30.5%　以上 (令和８年度)※6
	ふるさとの景観を守る満足度		27.6%　以上 (令和８年度)※6
	自然に親しむことができる機会を増やす満足度		27.8%　以上 (令和８年度)※6
	省資源・資源循環の推進満足度		28.1%　以上 (令和８年度)※6
	家庭ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルなどに取り組んでいる		92.8%　以上 (令和８年度)※6

※１ 町自然体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ：町の自然を親子で体感、体験できるプログラムで町が直接または委託により実施するもの。

※２ 信州型自然保育認定園：長野県が平成 27 年度から始めた制度で、信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用して、屋外を中心に様々な体験活動を積極的に取り入れた保育･幼児教育を行う園（団体）として認定を受けた保育園。

※３ こどもエコクラブ：平成 7(1995)年に環境庁(当時)が開始した「こどもエコクラブ」事業は、公益財団法人日本環境協会に引き継がれた。子供達の環境保全活動や環境学習を支援することにより、人と環境の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や、環境問題解決に自ら考え行動する力を育成し、地域の環境保全活動の環を広げることを目的としている。また、幼児（3 歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブ。

※４ 飯綱町一般廃棄物処理基本計画に定める目標値・年度。

※５ 水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量のことで河川の有機汚濁を測る代表的な指標。

※６ 住民評価は総合計画策定のための町民アンケート調査結果により把握。

施策の状況等

項目	現状（令和６年度）	期間目標（令和９年度）	達成状況
町一斉清掃参加人数	約 750 人	1,250 人	B
不法投棄の量	1.5t	1.0t	B

※「A」80%以上の達成、「B」50%以上～80%の達成、「C」50%未満の達成

○町の一斉清掃の充実

町民ボランティアの参加による町内一斉清掃活動を春と秋の年２回実施しております。

参加地区　50 地区　協力団体・事業者　13 団体・６事業者

●令和６年度飯綱町一斉清掃回収量

区分	春	秋	春+秋
可燃ごみ	340 kg	250 kg	590 kg
資源ごみ（金属屑・ペットボトル）	121 kg	50 kg	171 kg
粗大ごみ・埋立てごみ（ガラス・陶磁器屑・廃プラ等）	371 kg	151 kg	522 kg
総重量	832 kg	451 kg	1,283 kg

町内の不法投棄量※1　1,523 kg

※1 不法投棄量…一斉清掃回収量(町の回収量を含む)＋業者回収量(随時)＋不法投棄者返却量

一斉清掃当日の収集量及び分別量は減少傾向にありますが、まだ年間あわせて 1,000 kg以上のごみが町内には捨てられております。

令和６年度不法投棄された物の内容は空き缶やペットボトル、コンビニ弁当容器、タイヤなど、テレビや冷蔵庫などのリサイクル家電が目立ちました。

不法投棄の禁止について、住民には毎年の一斉清掃活動や広報等を通じて啓発等を行っているところですが、山間地の道路沿いなどでは、依然として町外からの持ち込みと思われる不法投棄が後を絶たず、投棄者を特定することも難しいため対応に苦慮している状況です。

引き続き不法投棄禁止看板を設置し不法投棄の防止に努めるほか、住民からの情報提供や長野県委嘱の不法投棄監視連絡委員・地区衛生組合長との連携、警察も含めた関係機関との協働により複合的に継続して対処していきます。

施策の状況等

項　　目	現状（令和 6 年度）	期間目標（令和 9 年度）	達成状況
林業体験参加者数	284 人	200 人	A

※「A」80%以上の達成、「B」50%以上～80%の達成、「C」50%未満の達成

〇森林（もり）の里親促進事業

飯綱町（町有林）を里子とし契約を締結した一般企業が里親となり、年間を通じた森林整備を実施しています。

平成 24 年度から㈱U ホールディングスと霊仙寺湖西側町有林の「桂山」にて契約を結び、ヤマモミジの植樹等を行っています。将来は、針葉樹のカラマツ林との針広混交林となるよう目指しています。

平成 26 年度からは、新光電気労働組合（R2 から新光電気株式会社と合同）と契約を結び、昨年度に引き続き「霊仙寺湖遊歩道」（ﾉﾙﾃﾞｨｯｸｳｫｰｷﾝｸﾞｺｰｽの一部・町有林）の森林整備を実施しています。

平成 27 年度からホクシンハウス株式会社・ホクシンハウス北友会（R3 より北信商建㈱・北友会から社名変更）と契約を結び、「霊仙寺湖東側町有林」の森林整備（下草刈り・地拵え）を行っています。

里親企業にとっても、地域交流や企業 PR、従業員の福利厚生や人材育成などのメリットがあるため、参加者人数・事業規模は増加傾向にあります。

また、近年は親子での参加者が多くみられることから、植樹や草刈りの他にも親子で町の自然を体感・体験できる魅力あるプログラムづくり等も検討していくことが必要です。

【植樹等実施状況】（事業地：桂山 町有林・霊仙寺湖遊歩道町有林・霊仙寺湖東側町有林）

R6	㈱Ｕホールディングス	6/13	桂山へヤマモミジ 150 本の植樹
		10/23	植栽地の下草刈りを実施
	新光電気工業株式会社 新光電気労働組合	5/28	霊仙寺湖遊歩道へコナラ 500 本の植樹
		10/12	植栽地の下草刈りの実施
	ホクシンハウス株式会社 ホクシンハウス北友会	11/1	アジサイ 50 本の植栽、植栽地の草刈りの実施

施策の状況等

項　　目	現状（令和６年度）	期間目標（令和９年度）	達成状況
町自然体験プログラム※数	13 プログラム	20 プログラム	B

※町自然体験ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ：町の自然を親子で体感、体験できるプログラムで町が直接または委託により実施するもの。

※「A」80%以上の達成、「B」50%以上～80%の達成、「C」50%未満の達成

〇ロゲイニング

・ 開催場所：飯綱町 三水地区（集合場所：りんごパークセンター）

・ 開催日：令和６年４ 月 28 日（土）9 時 00 分～13 時 00 分

・ 参加人数：41 名（子ども 25 名・大人 16 名）＋スタッフ５ 名

概要：

ロゲイニングは、地図を用いて指定されたチェックポイントを巡りながら、制限時間内に得点を競うスポーツです。

［期待される体験効果］

1 地域理解の深化

子どもたちは地図を片手に地域内を歩き回り、神社や歴史的な建造物、自然の景観など、普段何気なく過ごしている地元の魅力を改めて体験的に学びました。このような「発見」の体験を通して、郷土への愛着心や地域資源への興味が育まれ、飯綱町に対する理解が一層深まりました。

1 課題解決能力と協調性の向上

チームでの活動により、仲間と共に計画を立て、効率的にポイントを巡る工夫をすることで、課題解決力やチームワークの重要性を学ぶ場となりました。コミュニケーションを通じて役割分担を行うなど、実社会での協働に繋がる実践的な学びが得られました。

〇シャワーウォーキング

・ 開催場所：いいづなコネクト WEST 周辺 河川

・ 開催日：令和 6 年 7 月 28 日（日）9 時 00 分～12 時 00 分

・ 参加人数：16 名（子ども 15 名・大人 1 名）＋スタッフ 6 名

概要：

飯綱山の上流から少し下った場所にある自分たちの生活圏に近い川をテーマに設定し、「自分たちの住んでいる近くの地域の川で遊ぶ」ことを目的に活動を行いました。

活動に先立ち、スタッフ陣が河川整備を実施し、つるや枝の除去、ゴミ拾いなどの清掃作業を行いました。当日も参加した子どもたちに協力いただき、ゴミ拾いを実施した結果、90L のゴミ袋 2 袋分のゴミを回収することができました。

また、イベントの最後には振り返り会を開き、飯綱町産のとうもろこしを振る舞いました。

子どもたちは地域の食材に触れ、振り返りを通して今回の活動に対する学びを深める機会となりました。

[期待される体験効果]

1 地域環境に対する理解と愛着の向上

自分たちが暮らす地域の自然環境に身近に触れることで、子どもたちは郷土への愛着と地域資源の大切さを学びました。川や自然環境に関わる清掃活動を体験することで、自分たちの生活に直結する環境保護の意義を理解し、自然を守る意識が醸成されました。

○ 泥んこサッカー

・ 開催場所：飯綱町 坂口地域

・ 開催日：令和 6 年 8 月 10 日（土）13 時 00 分～16 時 00 分

・ 参加人数：21 名（子ども 11 名・大人 10 名）＋スタッフ 5 名

概要：

飯綱町でとうもろこしの生産に携わる元サッカー日本代表の石川直宏氏をゲストに迎え、地域資源である有休田を活用した「泥んこサッカー」を実施しました。参加者全員で未利用の田んぼを有効活用する方法について考え、実際に田んぼを舞台にしたさまざまな活動を体験しました。ビーチフラッグやサッカー、ラグビーの他、さまざまな遊びも取り入れ、参加者が泥の中での運動や遊びを満喫できるように工夫しました。大人も子どもも一緒になって泥遊びを楽しみ、地域全体で盛り上がるイベントとなりました。活動終了後には、石川氏が飯綱町で生産しているとうもろこしを参加者にプレゼントし、地域の特産品に触れる貴重な機会となりました。

[期待される体験効果]

1 地域資源の有効活用についての理解

有休田を活用するというコンセプトを体験することで、子どもたちは未利用資源を有効活用することの重要性に気付きました。地域資源をいかに楽しく活かすかという視点を持つことで、持続可能な地域づくりへの意識が醸成されました。

1 体験的なコミュニケーション能力の向上

泥の中でのスポーツ活動は、普段の環境とは異なる状況下での協力やコミュニケーションを必要とします。年齢を問わず参加者が協力し合うことで、互いを理解し、共に楽しむ体験を通じて、コミュニケーション能力やチームワークの向上が図られました。

○ 茅刈り

・ 開催場所：袖の山・遊休農地（集合場所：いいづなコネクト WEST 第 2 駐車場）

・ 開催日：令和 6 年 11 月 17 日（日）8:45～12:00（集合 8:30～）

・ 参加人数：23 名（子ども 16 名・大人 7 名）

概要：

企画運営メンバーが戸隠で学んだ昔ながらの茅刈りの技法を参考に、袖之山地区の遊休農地に群生する茅を手作業で刈り取りました。刈り取った茅は束ねて乾燥させ、翌年度以降の古民家周辺での東屋づくりなどに活用する予定です。作業の合間には焼き芋を楽しみながら、子どもたちは視界が開けていく達成感や自然の中で体を動かす心地よさを味わいました。大人も子どもも一緒になって協力し合い、荒廃地の資源を見直す貴重な体験となりました。

[期待される体験効果]

1 地域資源の価値を学ぶ

身近にある茅が「雑草」ではなく有用な建材資源であることを知り、自然の恩恵と先人の知恵を体感しました。

1 作業を通じた達成感と協働意識の醸成

チームで刈り取り・束ねる作業を行うことで、子どもたちは協力する楽しさと作業後の達成感を得られました。

〇スノーシュー

・ 開催場所：飯綱山登山道（原田新道）／集合場所：いいづなリゾートスキー場 リバティーベル前

・ 開催日：令和 7 年 1 月 26 日（日）9:00～12:00（集合 8:30～）

・ 参加人数：14 名（子ども 10 名・大人 4 名）

概要：

飯綱山の登山道をスノーシューを履いて散策しました。登りではやや急な斜面に苦戦する子どももいましたが、慣れてくると自然の地形を活かして滑り台のように滑り降りるなど、雪山ならではの遊びを積極的に楽しみました。ガイドから宿り木や動物の足跡についての解説もあり、冬の生態系や植物の生存戦略への理解を深める良い機会となりました。少人数で行動しやすかったこともあり、それぞれのペースを尊重しながら、冬の森を満喫しました。

［期待される体験効果］

1 冬の自然環境への興味・関心の醸成

雪の森での観察を通じて、動物の足跡や植物の生態に触れ、冬特有の自然の営みに興味を抱くきっかけとなりました。

1 挑戦心と達成感の獲得

普段とは違う装備と雪道での行動にチャレンジすることで、困難を乗り越える力や自信が養われました。

施策の状況等

項　　目	現状（令和６年度）	期間目標（令和９年度）	達成状況
１人１日当たり可燃ごみ排出量	363g※1	340g※2(令和 11 年度)	B

※1　１人１日当たり可燃ごみ排出量=家庭系可燃ごみ収集量［1,279.73t］÷人口(9,667 人)÷日数［365 日］
※2　飯綱町一般廃棄物処理基本計画に定める目標値・年度。
※「A」80%以上の達成、「B」50%以上～80%の達成、「C」50%未満の達成

○ごみに関する出前講座

例年、要望のあった地区や学校、団体に対しごみの分別とリサイクルについて飯綱町役場住民環境課において出前講座を実施しています。R6 年度においては、牟礼小学校、いきいきサロン東高原地区、飯綱町消費者の会(三水地区)から要望を受け実施しました。今後、積極的な活用が望まれるため、地区衛生組合や各種団体等と連携しながら開催していき、住民のごみに対しての関心をより高めていきます。いつも以上に必要最低限の取組を介して経験者を増やしていく。

実績：開催３件　参加人数 70 人

○資源回収補助金

廃棄物処理量の減少を図るため、再生利用可能な物（古紙類・缶類・ビン類等）の回収を行った団体に補助金を交付しています。

【回収実績】

団　　体	R6	参加人数
牟礼小学校 PTA	18,118 kg	80 人
三水小学校 PTA	16,440 kg	40 人
平出育成会	3,770 kg	23 人

○生ごみ処理機器購入費補助金

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量・再資源化をさらに推進するため、家庭から排出される生ごみを処理する機器を購入し設置する者に対して、補助金を交付しています。

【実績】

区　　分		R6	H27～R6
補助件数	生ごみ処理機	11 台	176 台
	生ごみ処理容器	9 台	321 台

○プラスチック製品の一括回収の研究

環境省実施の「令和６年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」に申し込み、プラスチック資源の効率的な収集・リサイクルの推進に資する先進的なモデル形成に取組みました。具体的には、現在、可燃ごみとしている「小さなプラ類」を再資源化するとともに可燃ごみの減量化を目的とした回収方法を検討しました。

プラスチック一括回収の導入に向けて、再資源化のため適切な収集・運搬方法や中間処理施設等を検討するとともに、排出抑制のため、使い捨てプラスチック製品の減量化を推進します。

また、住民からの視点や要望を反映したうえで、「小さなプラスチック類」を将来的に「プラスチック製容器包装」として一括回収する方式に移行できるよう研究を進め、減量及び再資源化に向け

てコスト等十分な検討を行ったうえ、実装を進めていきます。

〇4R の推進

ごみの分別その他の 4R の推進についての啓発を出前講座や広報等を通じて行いました。

(出前講座 3 回 70 名受講)

・リフューズ(発生回避)の推進

取組状況	次年度以降に向けた課題及び取組
ごみリサイクルカレンダー、ごみ分別ガイドブック(R6 年度更新)等の作成及び配布、広報誌、ホームページ、アプリ「i なびいいづな」による継続した広報活動を行いました。	意識啓発が重要なことから、広報誌等あらゆる媒体を活用して引き続き啓発活動を続けていきます。

・リデュース(発生抑制)の推進

取組状況	次年度以降に向けた課題及び取組
生ごみ処理機器の購入補助を 20 台(生ごみ処理機 9 台、生ごみ処理容器 11 台)行いました。平成 27 年より生ごみ処理機器の購入補助を行っており、トータル 497 台(生ごみ処理機 176 台、生ごみ処理容器 321 台)の機器の導入に至っています。 それにより家庭からか排出される可燃ごみの量は減少傾向にあります。	意識啓発が重要なことから、食品ロス削減その他リデュースにつながる事項について、広報誌等あらゆる媒体を活用して引き続き啓発活動を続けていきます。 可燃ごみの多くを占める生ごみの削減につながる生ごみ処理機器の購入補助を行っていきます。 ごみの減量化を進めるためには補助制度が有効であり、令和 7 年度に制度拡充に向けて令和 6 年度に交付要綱の改定し、処理容器の購入補助を 1 台から 2 台に拡充しました。 今後、処理機には補助の制限があるため、経年劣化による機器の故障などによる買替え等を考慮し、処理機の拡充の見直しを検討し、ごみの減量化に向けて補助制度を継続します。

・リユース(再使用)の推進

取組状況	次年度以降に向けた課題及び取組
ごみリサイクルカレンダー、ごみ分別ガイドブック(R6 年度更新)等の作成及び配布、広報誌、ホームページ、アプリ「i なびいいづな」による継続した広報活動を行いました。 古着についてはリユース又はリサイクルするため、年 2 回の回収を行いました。	意識啓発が重要なことから、広報誌等あらゆる媒体を活用して引き続き啓発活動を続けていきます。

・リサイクル(再資源化)の推進

<table>
<tr><th>取組状況</th><th>次年度以降に向けた課題及び取組</th></tr>
<tr><td>
ごみリサイクルカレンダー、ごみ分別ガイドブック(R6年度更新)等の作成及び配布、広報誌、ホームページ、アプリ「iなびいいづな」による継続した広報活動を行いました。
牟礼地区、三水地区各2回の蛍光管回収を行いました。
小型家電については、役場内の回収ステーションにて随時、回収を行っております。
古着についてはリユース又はリサイクルするため、年2回の回収を行いました。
資源回収事業について述べ3団体に対し、補助金により支援を行いました。

資源ごみ収集量の合計
<table>
<tr><th>区　　分</th><th>令和6年度</th></tr>
<tr><td>資源ごみ</td><td>391.20ｔ</td></tr>
<tr><td>リサイクル率</td><td>24.75%※</td></tr>
</table>
※リサイクル率の算出=資源ごみ量［391.20ｔ］＋粗大ごみ類等のリサイクル量［15.33t］＋可燃ごみ再資源化量(ながの環境エネルギーセンター報告書)［143.817ｔ］÷令和6年度ごみの総排出量［2223.47ｔ］
</td><td>
引き続き、可燃ごみと同様に4Rの取り組みについて、町民等の更なる理解の浸透と実践を進めるため、広報誌等を通じた啓発等を積極的に行うほか、地区衛生組合や各種団体等と連携し、講習会や出前講座などを開催するなど、ごみの減量化やリサイクル率の向上に努めていきます。
また、小型家電のリサイクル回収については、制度の理解が進んだことに伴い、回収量が増加しています。しかし、依然として回収方法などを知らない方もおり、粗大ごみとして処分されているケースも見受けられる状況です。今後、町民が無料で処分できる制度をさらに周知するため、効果的な啓発方法を検討し、情報提供を強化していきます。
</td></tr>
</table>

・町内保育園・小学校・中学校等の取組

○保育園（さみずっ子保育園、りんごっ子保育園、南部保育園）

【環境美化活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	草取り	職員	職員全員	職員による保育園周りの歩道の草取り（全）
5 月	花壇づくり	年長児	66 人	ひまわり、朝顔種蒔き等（全）
		年少児以上	154 人	花壇づくり（全）
6 月、9 月 (年 2 回)	保護者、職員による草刈	保護者会 職員	70 人	各保育園敷地内外の草取りや環境整（全）
10 月	どんぐり植え	全学年	87 人	どんぐりを植える（さ）

【省エネ、エコ活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	廃品を資材とした造形遊び	年少児以上	154 人	空き箱、トレー等廃品による作品作り、お店屋さんごっこ（全）
	ラップの芯、 牛乳パック、 空き箱当回収		50 人	園内で段ボールを回収し、ボールを転がすゲームを作って遊ぶ（南） 双眼鏡やどんぐり転がしなど、手作りおもちゃを作って遊ぶ（南）
通年	自然物を活用した造形遊び	年長児	66 人	さつま芋のつるのリース作り（さ）（り） さつま芋のつるでなわとび遊び（り） 葉っぱの冠、落ち葉のプール等（南）
11 月		全学年	231 人	どんぐり・とちのみなどでおもちゃ作り（全）

【自然体験プログラム】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	野菜作り	全学年	231 人	トマト、ナス、玉ネギ、カボチャ、さつま芋、じゃが芋、枝豆、モロッコインゲン等（全）
5 月～10 月	あずきの栽培 おはぎで味わう (食育委員会主催)	全学年	231 人	小豆の種まき、収穫、調理体験、実食　小豆の生長を知り、興味を持ちながら活動していた。(全)
5 月	花の栽培、種とり、ひまわりプロジェクト	年長児	35 人	朝顔、ひまわり栽培 社協主催のプロジェクトに参加し、北部高校生、地域の方と一緒にひまわりの種まきを実施（南）（り）
10 月	焼き芋会	全学年	231 人	収穫したさつまいもで焼き芋をして味わう（全） 園内外、園周辺の里山から、薪を拾い集めた（全） 落ち葉を拾い集めた（さ・り）

○三水小学校

【環境美化活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
4月～10月	協力の花	全校	167人	各クラスに種と鉢を配り、育てた。
6月	花植え	全校	167人	花壇に花の苗を植える
6月～11月	花の世話	全校	167人	花壇に花の苗を植え、水やり等の世話
6月、9月	ゴミ拾い登校	全校	167人	登校中の道路のゴミ拾いを実施(ごみ袋2袋分)
11月	落ち葉掃き	4～6年生	120人	落ち葉掃き

【省エネ・エコ活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
4/10	PTA資源回収	PTA	58人	新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック等を回収
通年	アルミカン・ 牛乳パック回収	全校	167人	奉仕委員会の活動で通年の取組 (アルミカン260kg、牛乳パック120kg)

【自然体験プログラム】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
4～10月	米作り	5年生	39人	町内農家の指導の下、稲作及び食育学習、環境学習を行う
5月	大豆、ポップコーン栽培	2年生	23人	JAの指導のもと、各種栽培
6月	高原学校 (登山・キャンプ)	5年生	39人	町インストラクターの指導のもと、飯綱山登山を行い、山頂から郷土を一望した。町内キャンプ場にてキャンプファイヤー、朝食作りを行った。また、カヌー体験を行い自然と親しんだ。
12月	豆腐作り	2年生	23人	JA婦人会の指導のもと、自分たちで栽培した大豆を使用して豆腐作りを実施。
6月～2月	りんご栽培	3年生	30人	北部高校生と協働でリンゴ栽培を実施。

【環境学習会】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
7/30	みどりの少年団 夏の研修会	6年生 美化委員	12人	長野地区の夏の研修会に参加
9/6	関川臨地学習	5年生	39人	新潟県妙高市から上越市まで流れる関川の上流(苗名滝)、中流、下流(日本海)の川や周辺の環境を現地で学習
10/11	太陽光発電見学	6年生	28人	飯綱町内の太陽光発電を見学

○牟礼小学校

【環境美化活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
6 月	ゴミ拾い登校	6 年生	50 人	総合的な学習の時間の SDG s 追究グループの呼びかけで、1 週間ずつ 2 回にわたり、道路のごみ拾いを実施。
7 月	ひまわりの花を植える	6 年生	50 人	総合的な学習の時間で SDG s 追究グループの呼びかけで、プランターでミニひまわりを栽培。

【省エネ・エコ活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
4 月	PTA 資源回収	町民	約 100 人	紙類、ダンボール、アルミ缶、瓶を回収。
7 月～8 月	信州ゼロカーボンチャレンジへ参加	6 年生	50 人	夏休み中に節電や省エネなどができる項目にチャレンジし、応募。
８月 １２月	リサイクルウイーク	全校	250 人	アルミ缶、牛乳パック回収を実施。

【自然体験プログラム】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
4 月～12 月	りんご栽培	3 年	36 人	学校に植えてあるりんごの観察や手入れをした。JA に方に来ていただき，葉摘みや収穫の仕方などについてご指導いただいた。
5 月～2 月	とうがらし栽培	4 年生	36 人	株式会社　八幡屋礒五郎指導のもと、とうがらしの栽培を行い、収穫をしたあとに七味缶に調合する体験を行った。
5 月～10 月	さつまいも栽培	全校	250 人	さつまいもを育て、収穫したものを焼き芋にして食べた。
5 月～2 月	みみずやさんと農業体験	2 年生	41 名	みみずやさんの畑で、様々な作物の栽培や収穫を体験した。また、有機農業についてのお話をお聞きした。
5 月	じゃがいも栽培	１年生	34 人	じゃがいもを作り、収穫したじゃがいもを使ってカレーを作った。
6 月～12 月	綿花栽培	１年生	３４人	綿花の種をまき、収穫後、綿花をリースの飾りにした。収穫した種は、牟礼小新 1 年生にプレゼントした。
6 月	ポップコーン栽培	1 年生	34 人	ポップコーンを育て、収穫後、調理した。
6 月	さつまいも栽培	1 年生	34 人	6 年生と一緒にさつまいもを育て、収穫後、スイートポテトを作った。
		５年生	50 人	2 年生と一緒にさつまいもを植え、秋に収穫し、焼き芋の準備をした。5 年生では、収穫した米と一緒にさつま汁を作って食べた。

6 月～11 月	りんご栽培体験	３年	36 人	町の農家さんのリンゴ畑へ行き，葉摘みや収穫などの体験をさせていただいた。
5 月～10 月	米の栽培	5 年生	50 人	だんどりの会の方のご指導のもと、田植えから稲刈り、脱穀まで行い、収穫した米でおはぎを作って食べた。
7 月	校外活動 飯盒炊爨 ネイチャーゲーム	5 年生	50 人	飯縄山登山に向けた事前学習を行った。（当日は悪天候のため登山は中止） ネイチャーゲームやカヌー体験を行った。
10/11	キーホルダー作り	4 年生	35 人	間伐材でキーホルダー作りを行った。（安曇野公園）

【環境学習会】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
5/8	いいづな歴史 ふれあい館見学	6 年	50 人	飯綱町の自然と歴史講座を受講
6/17	飯綱浄水場見学	４年生	35 人	飯綱浄水場への見学を行った。
7/2	クリーン飯綱見学	４年生	35 人	クリーン飯綱への見学を行った。
8 月	みどりの少年団	飼育園芸委員会	2 人	みどりの少年団交流集会に参加し、自然体験を行った。
7/8	直富商事見学 （リモート）	4 年生	35 人	リモートで施設内の見学をして、古紙、缶、金属、パソコンなどのリサイクル方法を学ぶ。
7/17	ながの環境エネルギーセンター、 資源再生センター見学	4 年生	35 人	ごみ処理の仕組みを学ぶ。 不燃物、プラスチックの処理とリサイクル方法について学ぶ。
10 月	川の学習	5 年生	50 人	講師をお招きして、関川から新潟まで川の変化を見学した。
10/18	地層見学	6 年生	50 人	戸隠化石博物館の学芸員より、現地で地層や化石について説明していただき、戸隠化石博物館内でも学習した。
2/27	出前授業	6 年生	50 人	町のゼロカーボンへの取り組みを住民環境課の方にお話しいただいた。

【その他】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
5 月	よもぎ団子づくり	2 年生	41 人	だんどりの会のご指導のもと、自分たちで摘んだよもぎを使用し、よもぎ団子づくりを実施。
12 月	豆腐作り	2 年生	41 人	だんどりの会のご指導のもと、栽培した大豆を使って豆腐作りを実施。

【今後、新たに検討又は予定している環境活動】

・農作物の栽培と調理
・花の栽培
・アルミ缶・牛乳パック回収（児童会「リサイクルウィーク」）
・出前講座（町住民環境課　ほか）
・ごみやリサイクルの学習（見学）
・みどりの少年団の活動　児童会
・校外活動　登山　ネイチャーゲーム等　5 年
・川の見学　5 年
・地層見学　6 年

○飯綱中学校

【環境美化活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
10/18	町内ゴミ拾い	3 年生	12 人	牟礼駅周辺のゴミ拾いを実施
11/8	町内ゴミ拾い等	3 年生	12 人	学校周辺、通学路のゴミ拾いを実施

【省エネ、エコ活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
7/9～7/18 8/27～9/5 11/6～11/1	アルミ缶回収	全校	231 人	家庭にあるアルミ缶を登校時に回収

○ながの農業協同組合

【環境美化活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
春と秋	町一斉清掃	職員	春 4 名 秋 6 名	春と秋に開催される町の一斉清掃に、飯綱支所として積極的に参加している
随時	ゴミ拾い清掃	職員		事業所周辺のゴミ拾い等、事業所周辺で催事がある場合は、その前後の清掃活動などを行っている

【省エネ、エコ活動】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	環境負荷軽減 コスト意識	飯綱支所職員		こまめに消灯、空調温度管理 事業所内照明器具の LED 化（R6.10 月～）

【自然体験プログラム】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	大豆栽培 （三水小学校と協働）	三水小学校 2 年生	24 人	JA 北部営農経済センター指導のもと、食育を通じて農や食、地域の大切さを伝える活動を実施。 JA 女性部と収穫した大豆を使い豆腐作りと試食
通年	リンゴ栽培	北部高校 1 年生	26 人	年間 12 回、リンゴ栽培の指導を実施。

【その他】

日付	内容	対象者	参加人数	取組詳細
通年	環境負荷の 少ない農業	組合員 利用者		生分解可能な農業資材等の開発や普及拡大

・各種団体の取組

○こぶし会

住民から寄付いただいた綿、古布を使用して木曽地方の防寒着「ねこ」や駅の座布団など作製しています。

○婦人会

町民会館ロータリー花壇手入れ(環境美化)や町立飯綱病院の草刈りなどを実施しております。

県連婦みどりのカーテン事業として朝顔の移植・水くれ・つる棚づくりなどを実施しております。

○子ども食堂てんぐカフェ

イベントに合わせてフードドライブを開催し、子ども食堂や食料の確保が難しい方へお渡ししています。

○アルミ缶ボランティア

アルミ缶ボランティアが主体に北部高校生の協力でリサイクルを実施しています。

・アルミ缶プレス活動協力団体（町社会福祉協議会ボランティアコーディネーター）
　北部高校生徒・消費者の会（三水地区）・商工会女性部・SUN（たんぽぽ）

・アルミ缶収集に協力をいただいている組：普光寺東部組・普光寺西部組

【アルミ缶プレス収益の活用】

SUN の障害者就労支援、北部高校活動補助金、車椅子の寄贈、保険など

○飯綱町ボランティア連絡会

古紙回収、再生紙の利用促進を行う。町の一斉清掃と合わせてブースを設置し、家庭にある牛乳パックをトイレットペーパー又はペーパータオルに交換しています。同時にフードドライブも開催し、子ども食堂や食料の確保が難しい方へお渡ししています。

○飯綱町シニアクラブ連合会

道路沿いの清掃や草刈り、各公共施設での花壇づくりを実施しています。

○学用品リユース実行委員会

栄町区にあるコミュニケーションスペース「ZQ」（ズク）を拠点に算数セットや制服等の学用品を回収し、必要な方へバトンタッチする活動をしています。

○北部高校生徒会と栄町老人会「長寿会」

牟礼駅前の花壇の維持管理を実施しています。

○白地図をぬろう会

県の「地域発元気づくり支援金事業」を活用、令和 2 年（2020 年）3 月に「続・白地図を夢色に」を発行、これまで 20 年あまりの会の活動を通して発見してきた地域の良さを紹介するガイドブックを発刊し活動を続けています。

○三水消費者の会

消費者生活に関する知識の普及、及び各種の実践活動を通じ、消費者自体の確立を目指し、飯綱町三水地区の消費者生活の改善向上に寄与することを目的とし実施しています。

アルミ缶つぶしボランティア、ボカシ・廃油石鹸づくり、EM 発酵液づくりぼかし（生ごみの堆肥化促進）作りを行いぼかしについては販売しています。

○大日陰地区カタクリを守る会

飯綱町花めぐりの観光スポットとしても名の知れた、上赤塩大日陰地区に自生しているカタクリ群生地を保存するため、地元有志が自ら環境整備を行い、コミュニティの振興、地域活性化を図っています。

○育成会

各育成会でごみ拾いや資源回収等を実施しています。

名称	実施内容	実施日	参加人数
横手青少年健全育成会	ごみ拾い	4/2	10 人
坂上育成会	ごみ拾い	4/7	21 人
普光寺育成会	ごみ拾い	7/26～31	延べ 53 人
平出育成会	資源回収 （古紙類 3,770 kg）	9/8	23 人
倉井育成会	ごみ拾い	10/27	92 名

○区・組

道路愛護活動補助金を活用し、町道及びその付帯施設の適正な維持管理（清掃や草刈り等）を実施しています。

【令和 6 年度実績】

取組地区数　24 地区　参加人数：延べ 3,000 人

令和７年度版（令和６年度実績）

飯綱町環境レポート

（概要版）

～健全で豊かな環境の恵みを守り継承する飯綱町～

発行年月　令和８年２月

発　　行　飯綱町

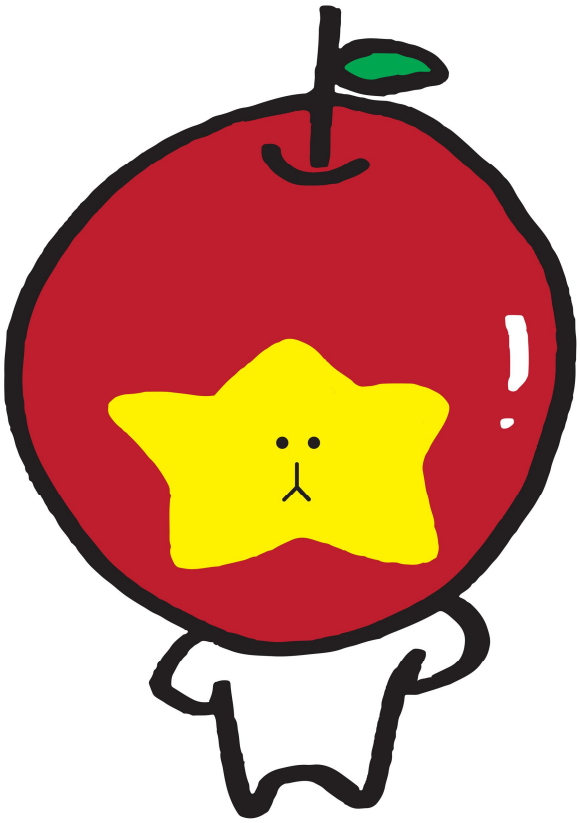
編　　集　飯綱町　住民環境課　生活環境係

〒389-1293

長野県上水内郡飯綱町大字牟礼 2795 番地１

電話：026-253-4762　FAX：026-253-6887

Mail：seikan@town.iizuna.nagano.jp



飯綱町 PR キャラクター「みつどん」